

Title	編集後記；奥付
Sub Title	
Author	高村, 象平
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1947
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.40, No.1 (1947. 1) ,p.50-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19470101-0050

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編輯後記

第十七世紀の英吉利における國家觀はロッドからロツクへと極めて著しい變化を示した。スチュアート絶對王政の大代辯者たる前者は、個人の權利が國家のそれに全く從屬すべきことを説き、後者は本號の卷頭論文中に高橋先生が引用されてゐる「政治二論」その他を以て、個人的自由の哲學的擁護——自然權の主張と主權在民の原則を述べてゐる。端的にいへば、國家觀における全體主義より自由主義への大轉換である。ロッドとロツクとの間に挿まれた謂ゆる内亂と光榮革命とが英吉利國家の性格を一變させたわけであるが、この自生的な變化にして猶半世紀の歲月を要した。時代も場所も事情もすべて全く異なるから比較の對象とは勿論ならないが、それにしても文化國家の創建のために吾々は萬事につけて言葉通り懸命に努力せねばならぬとつくづく思ふ。

本誌復刊後半年を経つた。その間に本學會の事業の一つとして毎月塾内で開かれる研究報告會ではどんな問題がとりあげられたか。ここに餘白をかりて昭和二十一年下半年における演題その他を一括して掲げる。

- 藤村 敬三氏 わが國の勞働運動の現狀(七月廿五日)
- 町田義一郎氏 銀行國有問題(八月廿四日)
- 永田 清氏 戦後の財政經濟(九月五日)
- 増井 健一氏 國鐵を中心として見たわが國の輸送力(九月廿八日)
- 平井 新氏 近代社會主義と自然法(十月十一日)
- 青沼 吉松氏 經濟構造と政策(十月廿五日)
- 氣賀 健三氏 マルクシズムとデモクラシー(十一月七日)
- 鈴木 諒三氏 現代統計資料論(十一月十六日)
- 高村 象平氏 アメリカのフロンティア(十二月八日)

(高村 象平)

禁轉載

本號定價金 五圓
送料 三十錢

編輯者 高村 象平
印刷者 川口 芳太郎
印刷所 帝國印刷株式會社

昭和二十一年十二月二十五日印刷 第四十卷
昭和二十二年一月一日發行 第一號

豫約購讀料 一年分 金六十圓

豫約購讀料は發賣所宛お拂込み下さい

誌代變更の場合は精算決済致します

編輯に關する用件は發行所へ

營業に關する用件、購讀申込は發賣所へ願ひます

發行所 東京部芝區三田三丁目慶應義塾大學經濟學部研究室内
慶應義塾經濟學會
東京部芝區三田二ノ一

發賣所 慶應出版株式會社
日本出版協會員A二二〇一九



慶應義塾

論說

戦争と金融 野村兼太郎(一)

一日清戦役における金融情勢 小高泰雄(元)

資料

動態經濟學と物價指數 鈴木諒一(元)

昭和十二年以降の國鐵の輸送に關する統計 増井健一(元)

三田學會雜誌

卷第四十 號第二